

主 日 礼 拝

説教 「迷惑はかけたくない」という大迷惑

(教会の色 赤)

10時30分～11時15分

招 き

前 奏

・ 礼拝招詞

・ 頌 栄 2 4

(1954年版 曲:I-539)

・ 主の祈り 9 3 - 5 A

神の言葉

福 音 書 ヨハネによる福音書 第 13 章 3 ～ 8 節 新 194

使 徒 書 ローマの信徒への手紙 第 12 章 1 節 新 291

祈 祷

・ 賛 美 3 0

・ 信仰告白 使徒信条

説 教

北川一明 牧師

祈 祷

応答感謝

・ 賛 美 I - 4 0 3 (1 ～ 4)

(讃美歌 2 1 540)

献 金

・ 感謝祈祷

祝福派遣

・ 頌 栄 2 8

(1954年版 曲:I-545)

・ 祝 祷

後 奏

報 告

・ 印のときは お体にお差し支えなければお立ちください

当番	司式	報告	1F役員	当番1	当番2	web	放送
今週	星野	西田	富田	田中	中村寛	李三	山田美
来週	宮下	庄司	日下部	中山洋	中村幸	西田牧	西田牧

週 報

No. 21

聖霊降臨節第 1 4 主日

2 0 2 6 年 8 月 23 日

2026年度主題聖句

その人たちは
お返しができないから
あなたは幸いだ
(ルカ14:14)

家に座しているときも
道を歩くときも
寝ているときも
起きているときも
(申命記 6 : 7)

日毎の糧

8 月 24 日 (月)	ルツ記	1:1 ～ 14
8 月 25 日 (火)	ルツ記	1:15 ～ 22
8 月 26 日 (水)	ルツ記	2:1 ～ 13
8 月 27 日 (木)	ルツ記	2:14 ～ 23
8 月 28 日 (金)	ルツ記	3:1 ～ 18
8 月 29 日 (土)	ルツ記	4:1 ～ 17
8 月 30 日 (日)	コリントの信徒得の手紙	12:27 ～ 13:13

日本基督教団平塚教会

牧師北川一明

〒254-0045 平塚市見附町 6-18 電話0463-32-885

<http://www.hiratsuka-church.jp>



ー 本日の集会ー

◇ 親子礼拝 聖書 ルカ2:29,30 説教 北川一明
 賛美歌 光り光りわたくしたちは 奏楽 本瀬文愛

◇ クリスマス委員会 12:00 1Fホール

◇ コーヒータイム 礼拝後 1Fホール

ー 今週の集会ー

8 月 27 日 (木) 牧師面談日 随時 事前に電話連絡ねがいます

ー 今週の祈禱会ー

26 日 10:00～10:40 十字架責任や戦争責任の無理と真実 ヘブライ 6 : 4ー6

26 日 19:00～19:40 聖書研究 ヘブライ 6 : 4ー6

本日の情報共有・意見交換会

同会の後でクリスマス委員会があります

そこで本日は、礼拝説教についての話の他、今年のクリスマスについて意見交換をします

ー 前週の出席数等ー

	男	女	計	親子礼拝	小人	大人	他の集会	男	女	計
主日礼拝	15	28	43	幼児	0		平和を学ぶ会	3	4	7
祈禱会①	2	1	3	小学生	2	3	情報共有・意見交換	8	14	22
祈禱会②	1	2	3	中学生	1		前週席上献金	¥34,960		

次主日予定				聖霊降臨節第 1 5 主日				8 月 30 日	
◇ 親子礼拝	聖書	ペテロ I 5:7			説教	松田和子			
	賛美歌	光り光りわたくしたちは			奏楽	本瀬文愛			
旧約聖書	ヨシュア記			第 24 章 14、15 節			旧 377		
新約聖書	テモテへの手紙 II			第 4 章 1 ～ 5 節			新 394		
礼拝説教	御言葉への信頼			高砂民宣牧師			奏楽 金		
讃美歌	2 4	4 5 9	4 0 3			2 8			
◇ ふたばカフェ									

ー お知らせー

◇次主日(30日)の礼拝説教は高砂民宣(たかさご たみのぶ)牧師(青山学院大学宗教主任)にご奉仕いただきます。前回登壇は昨年6月29日でした。なお、北川牧師は休暇日です。

《プロフィール》早稲田大学社会科学部、東京神学大学大学院、ウェスタン神学大学院、イエール大学神学大学院修了。日本基督教団横浜指路(ヨコハマシロ)教会、同荻窪清水教会牧師等を経て、現在、青山学院大学宗教主任・経営学部教授。

◇ふたばカフェを次主日(30日)、午後1時から牧師室で1時間ほど行ないます。心の悲しみ、苦しみを語り合うことで少しでも軽くするための場です。関心のある方は阿閑さんに連絡願います。お話ししなくても、お聴きになるだけでも結構です。

◇今年度の「壮年会」は、9月6日、11月1日及び3月7日を予定しています。不定期の会合でもあり、特にテーマを定めず出席してくださった方の提案で、教会生活、信仰生活、教会と社会などの中から話し合いをしたいと思います。

◇「おとずれ」9月号ができあがりました。どうぞご一読ください。なお、9月号の編集は教会員で行ってみました。今後も教会員数名で編集委員会を編成して行いたく考えております。ご奉仕いただける方は日下部姉まで連絡下さい。

◇今年度の「壮年会」は、9月6日、11月1日及び3月7日を予定しています。不定期の会合でもあり、特にテーマを定めず出席してくださった方の提案で、教会生活、信仰生活、教会と社会などの中から話し合いをしたいと思います。

平塚二葉幼稚園2026年度韓国研修(7/29～8/1)

先月末、幼稚園の若手教員を、韓国・済州島への研修旅行に送り出しました。今秋来訪予定の台湾の教会系団体から昨年いただいた献金の一部を用い、現地の教会と幼児教育施設を見学する機会を与えられました。

教育熱の高い韓国では、幼児期から知識を教え込む教育が行われているのではないかと想像していたそうです。しかし、実際は、子どもたちが生き生きと動き、一人一人の思いを大切にする保育でした。「私たちの園が目指していることとよく似ている」と、当人たちも園長も、これまでの取り組みに自信を深めました。

当園の「自立教育」は、何でも一人で行える子や、大人の指示に従う子をつくることではありません。自分の思いを伝え、相手にも思いがあることを知り、共に折り合う道を探す力を育てる教育です。一人一人を神に愛された、かけがえのない存在として受け止める幼稚園です。これからも教会の祈りとお支えをお願いいたします。